

— 編 集 後 記 —

木 本 貴 夫

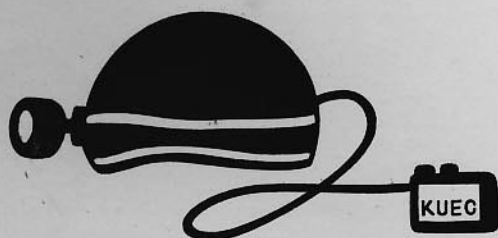
✻ 過去4年間、5度に渡る飽くなき調査により、遂に青海千里洞の全貌を捉えることができた。私達のバイオニア精神が自然の偉大なる力に打ち勝ったのである。

✻ 地上より垂直405mという堅穴洞窟に於ける日本最深記録を樹立したが、部員は、決してこれにおごることなく、基礎探検知識及びその技術を日々錬磨し、日本のケイビング（洞穴探検）やスペレオロジー（洞穴学）に貢献すべくがんばってもらいたい。

✻ 残雪を貯える巨大なドリーネ。ゲレンデのような洞内雪溪。垂直70mにも及ぶ孤独の滝。野球場を思わせる闇の大殿堂。地底への五段坂………………。これら自然の偉大なる、未知の、神秘的な創造物を私達一人一人の胸にはしまい切れないうし、心苦しい。又、多くの人達にも見せたい、話したいという純粋な気持ちから青海千里洞報告書Ⅱを編集した次第です。このような趣旨から数多くの写真や図を掲載しました。

✻ この報告書が、読者諸賢のケイビングに対する認識を深め、又、少しでもその資料となり、お役に立ちうるならば幸甚の至りです。

✻ 本書を発行するにあたり、御投稿及び御協力下さいました関係諸氏に感謝の意を表します。



CAVING

青海千里洞調査報告 No. 2 (1968)

昭和44年1月15日発行

発行責任者 金子史郎

編集責任者 木本貴夫

発行所 関西大学文化会探検部
大阪府吹田市千里山

関西大学誠之館内 TEL (388) 1121

印刷所 内田印刷株式会社

大阪府大阪市生野区勝山通7-37

TEL (716) 9605